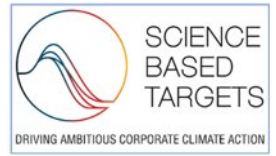


③環境経営目標とその実績・評価



I.【CO2排出量】

2023年9月にSBT認定を受け、エコアクション21の環境経営レポートにGHGプロトコルに準じた報告をまとめました。温室効果ガスの自社排出を抑制するだけでなく、サプライチェーン全体として温室効果ガスの排出量削減に努めてまいります。

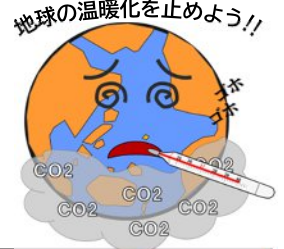
2026年度環境経営目標と実績

対象項目内容

Scope1:会社で使用する燃料使用によるGHG排出（ガソリン・軽油・灯油）

Scope2:会社で使用する電気使用によるGHG排出（株式会社未来製作所）

Scope3:間接取引によるGHG排出（上記以外の事業活動に関連する他社の排出）



項目	2021年度 (基準年)	2025年度 目標	2025年度			
			実績	削減率 (基準年)	評価	
Scope1+2	2,817	基準年より 42%減	1,164	58%減	😊 Great	
単位 t-co2/年	Scope1	1,791	基準年より 8.0%減	1,164	35%減	😊 Great
	Scope2	1,026	基準年より 100%減	0	100%減	😊 Great
Scope3	45,667	基準年より 4.3%減	42,513	6.9%減	😊	

(電力のCO2排出係数は、まち未来製作所の毎年度の調整後排出係数を使用する（2025年度の係数は、0.000kg-CO2/kWh(2025年8月1日公表)）

2026年度～2030年度 中長期環境経営目標

項目	2021年度 (基準年)	2026年度 目標	2027年度 目標	2028年度 目標	...	2030年度目標 【排出実績目標値】
Scope1+2	2,817	基準年より 43%減	基準年より 45%減	基準年より 46%減	...	基準年より50%減 【1,408】
単位 t-co2/年	Scope1	1,791	基準年より 10%減	基準年より 13%減	...	基準年より21.4%減 【1,408】
	Scope2	1,026	基準年より100%減			...
Scope3	45,667	基準年より 8.5%減	基準年より 12.9%減	基準年より 18.7%減	...	基準年より30%減 【31,967】

環境経営計画に基づき実施した取組内容・評価

主な取組内容と取組結果並びに次年度の取組内容

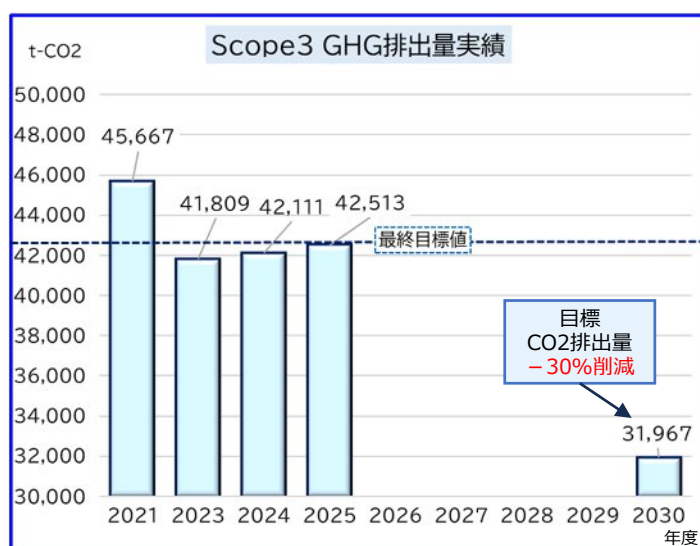
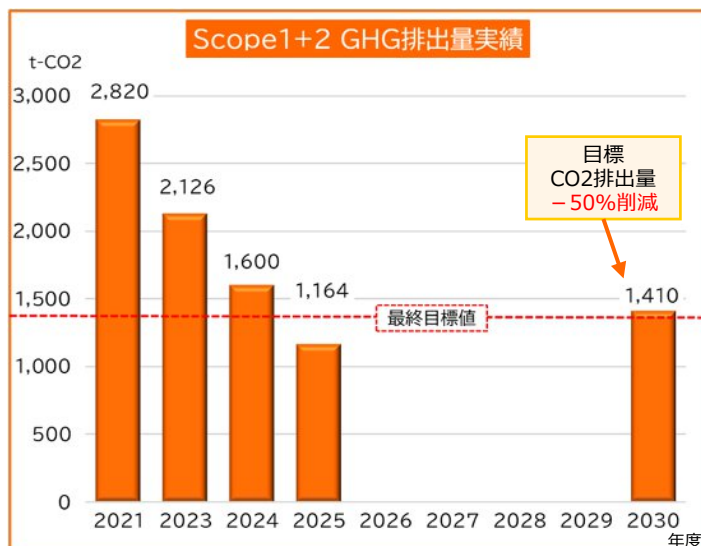
項目	主な活動内容(2025年度)	評価	次年度の活動内容
CO2 排出量	電気使用量	○	2025年度の活動内容と同じ ※2030年度までの目標 ・省エネ車の導入 ・低炭素重機の導入 ・次世代燃料の採用
	軽油、ガソリン使用量	○	
	灯油、LPG使用量	○	

I.【CO2排出量】

2025年度 GHGプロトコルに基づく温室効果ガス排出実績一覧表

Scope、カテゴリ毎のCO2排出量〔t-CO2/年〕

項目		前年度実績値	実績値	備考
Scope1	ガソリン (2.32kg-CO2/L)	80	73	
	軽油 (2.58kg-CO2/L)	1,065	1,087	
	灯油 (2.49kg-CO2/L)	3	3	
	L P G (3.00kg-CO2/kg)	1	1	
Scope2	電力消費	451	0	
Scope1+2 実績合計		1,600	1,164	2030年度削減目標:1,410
Scope3	カテゴリ1 購入物品サービス	737	927	
	カテゴリ2 資本財	1,079	275	
	カテゴリ3 燃料エネルギー関連活動	305	307	
	カテゴリ4 輸送 (上流)	642	603	自社手配の運搬
	カテゴリ5 廃棄物	18,197	20,928	
	カテゴリ6 出張	17	20	
	カテゴリ7 通勤	117	106	
	カテゴリ8 リース資産 (上流)	0	0	該当なし
	カテゴリ9 輸送 (下流)	598	590	取引先手配の運搬
	カテゴリ10 販売製品の加工	2,183	1,803	原料チップ、金属、有価プラ
	カテゴリ11 販売製品の使用	18,236	16,954	RPF(固形燃料)、燃料チップ
	カテゴリ12 販売製品の廃棄	0	0	
	カテゴリ13 リース資産 (下流)	0	0	該当なし
	カテゴリ14 フランチャイズ	0	0	該当なし
	カテゴリ15 投資	0	0	該当なし
Scope3 実績合計		42,111	42,513	2030年度削減目標:31,967



弊社の具体的な取り組み内容は次のページに記載してあります。

SBT認定取得 = CO2削減目標に向けての弊社の取り組み =

SBT(Science Based Targets)認定とは

「地球の気温上昇を産業革命前と比べて1.5℃未満に抑える」というパリ協定で掲げられた目標に対し、弊社が設定したGHG排出量の削減目標が科学的に整合しているとして認定されたものです。

山形県内に本社を置く会社としてはまだ数少ない認定取得となりました。

2018年度にそれまで取り組んできた事業活動やCSR活動をSDGs活動として定め、2021年度にはエコアクション21認証に取得、そして2023年度にはSBT認定、CDP質問書への回答に取り組みました。

最近では、異常気象による自然災害が毎年のように発生しており、この山形においても決して他人事ではないと実感しています。

温暖化を食い止めるためにも、少しでもカーボンニュートラルに向けた取り組みに参画し、山形の環境事業者として社会的責任を果たし、積極的に地域の持続可能な発展に貢献してまいります。

弊社では「守ろう、地球。創ろう、未来。」というスローガンのもと、持続可能な事業活動をさらに強化し、社会のためにそして地元である山形県のために、国際的な基準の目標設定および情報公開を行い、地域の持続可能な発展に貢献していきたいと考えております。

取り組み(一例)

Scope1

- ・省エネトラック・自動車の導入推進
水素/電池/ハイブリット車など



低公害車への入れ替えを随時行っております。

営業・総務等で使用している普通車両は、電気自動車や燃費のよいハイブリット車両へ切替しております。(2024年度電気自動車1台入替)
本社には2か所に電気自動車用の充電設備を完備しており、電気自動車への切替も可能な状態です。

- ・低炭素重機の導入
電動式重機/水素燃料/バッテリー式など



まだ日本は、軽油を使用した重機が多いですが、欧州ではバイオ燃料等を利用した次世代重機への取り組みが進んでおります。
低炭素重機の情報収集を継続的に実施します。

- ・GTL燃料等の次世代燃料の採用

Scope2

再生可能エネルギー電源への切り替え完了!!



太陽光発電



2024年10月より、弊社で使用しているすべての電力を、太陽光由来の電気に切替えました。

この電力を使うことにより、CO2排出量実質ゼロになりますので、Scope2の目標CO2削減率100%を2025年度で達成することになります。

Scope3

自社から排出する《二次処理含む》廃棄物の処理方法を精査する

例)処理優先を再確認する。

RPF>焼却

オガツ粉>原料チップ>燃料チップ>焼却



処分場への廃棄物排出量の削減



輸送距離を抑えるため、製品及び処分物は出来る限り地産地消を目指す

長距離輸送についてはモーダルシフトなど低炭素輸送を検討する

LCA/CFP製品の購入を優先する

取引先に対してGHG排出削減目標を設定することを促す



購入品の切替

